

## 平成30年度ふれあいトーク議事録(余川地区)

日時 平成30年8月29日(水) 19:00～20:30

場所 余川営農研修会館

出席者 余川地区住民 39名

市長、企画政策部長、総務部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、消防長、防災危機管理監、事務局7名

質問の内容	回答
<p>1 男性 数年前から40代～60代の男女のふれあいの場を作 てほしいと申し上げている。 市は若い人たちには、出会いの場、おせっかいさん を設けている。それも大事なことだが、40代～60代 の単身者、寡婦、寡夫を対象とした出会いの場を設 けてはどうか。単身者の生活は孤独である。結婚を 前提とせず、話し友達になるような形でも良い。今 年中にそのような場を設けていただきたい。</p>	<p>企画政策部長 ご提案していただいた内容には反するが、婚活イ ベントについては今年度も実施しており、参加者 には35歳とまでという年齢制限をしている。 おせっかいさんの活動については、市では縁結び 会という会を組織し、登録いただいた会員約20 名の方が、出会いを求めている男女の間を、取 り持つ事業を行っている。縁結び会の活動報告 の中で、市内の50代の方と市外の方を結び合 わせたという事例もある。 ご提案いただいた出会いの場についてだが、氷 見市内で婚活イベントを募集すると、市内の方 に、なかなか参加していただかず、市外の方 の参加が多い傾向にある。 市内の方に多く参加いただけるよう、今後の 婚活イベントについては、どのような方法がよ いのか検討していきたい。</p>
<p>2</p>	<p>市長 昨年度は婚活イベントを5回実施した。今年も 同様に開催する予定である。これまでの実績と して、おせっかいさんの活動を通して昨年度 2組、今年度2組、計4組の方が結婚している。 70代、80代の方については自分で解決して ほしいという思いもある。</p>
<p>3</p>	<p>市民部長 今年度、老人クラブ連合会で、出会いの場を 設ける活動を実施している。ご利用いた きたい。</p>
<p>4 男性 今朝も防災無線が鳴っていたが、何を言っている のかわからなかった。外に出て聞き取りにくい。 防災無線は、自宅近くの旧上余川小学校に設置 されている。近所にあるので聞こえるだろうと 思われるかもしれないが、はっきりと聞き取れ ない。 市で現地調査をしていただきたい。しかし防 災無線を不用意に鳴らすことはできないと思 う。そこで9月2日の防災訓練の際、防災無 線が放送されると思うので、市の職員に調 査に来てもらえないか。</p>	<p>防災・危機管理監 防災行政無線が聞こえにくいという声は市内 一円からいただいている。お話のとおり、防 災訓練の際に、防災無線を鳴らすことにな っているが、当日は市の職員を訓練に総動 員しており対応できない。調査については、 別日に行い後日報告させていただく。 防災無線の内容が聞こえない場合はテレホン サービスを実施している。必要な方は番 号を控えていただきたい。この番号にか けていただければ、防災無線から流れた 内容を聞くことができる。西日本の豪雨災 害の際、普段聞こえていた防災無線が、ま ったく聞こえなかったという事例も聞 いている。自ら災害情報を取りにくい 習慣をつけていただきたい。</p>

	質問の内容	回答
5	<p>男性 数年前から出ている話であるが、百谷トンネルから岩崎ストアまでの法面の草刈りについて、高齢化や急勾配のため危険を訴えてきた。進捗状況を知りたい。</p>	<p>建設部長 草刈については、余川地区だけでなく市内各地区から高齢化に伴い、地域では対応できないという要望をいただいている。 お話の市道北八代堀田線の草刈については、市が保有している自走式草刈機を用いて、道路管理センターが年2回草刈を行っている。しかしあくまでも(自走式草刈機の)アームの届く範囲までであり、法面が長く、草刈が行き届かない場所もある。今後、防草シート設置の可能性も検討していく。</p>
6	<p>女性 市の花壇コンクールに参加し13年が経過する。近年、審査される方が本当に(園芸に)精通した方なのか、専門の方なのかという疑問がある。 コンクール当初は(審査員として)富山市の職藝学院から渡邊美保子先生が来られ、花壇に対して、丁寧なアドバイスをいただき、それを糧に頑張っていた。 しかしここ3、4年は(審査に来て)黙って来て、黙って帰っていき、アドバイスや感想もない。今年は特にそう感じた。審査員の選定にあたっては、専門家を入れていただきたい。</p>	<p>建設部長 審査員の選定については、期待に応えられるように検討をしていきたい。</p>
7	<p>男性 大学連携推進事業について、氷見市では名城大学との産学官の連携に取り組んでおられる。 それに関連して、氷見市は若者が集まるような街にすることが必要であると思う。ハードルが高いと思うが、名城大学の1学部でもいいので市内に誘致していただければと思う。</p>	<p>企画政策部長 名城大学農学部との連携については、昨年11月に協定を締結し、交流を進めているところである。 市としても学部の誘致について希望をもち、現在、氷見高校の同窓会館の1室を事務所としている。将来的には大学の研究施設を氷見市に設けてもらえるよう働きかけていきたいと考えている。併せて来月には産学官で新たな協議会を立ち上げ、企業にも入っていただく。その中で市内での研究施設のあり方についても考えていきたい。</p>
8	<p>男性 防災訓練について、自分が住んでいる余川5組には(避難する際によく用いられる)公民館がない。どこに避難したらよいのか。 本来は耐震化された公共施設、例えば学校などが避難所になると思う。しかし旧余川小学校は耐震化されていないのではないのか。</p>	<p>防災・危機管理監 地区の中に避難所に適した施設がない場合、地区の中で話し合いをして、安全な場所を避難所として決めていただきたい。安全な場所については、地区の方が一番ご存知なはず。そのような話し合いを通じてコミュニケーションを図り、地区内の災害についての意識を高めていただきたい。 今お話したことは、あくまでも一次避難場所についてである。まずは(一次避難場所)ご自身の安全を確保した上で、安全な避難所に移動していただくことになる。お話のとおり、旧余川小学校は耐震化がなされておらず、地震の際には北部中学校等に避難していただくことになると思う。今のお話は地震のケースだが、様々な災害を想定して、避難の仕方を地区で話し合っていたいただきたい。 広域災害になった場合、どうしても(公的機関が提供する援助)公助は遅くなってしまう。それまでの間、自分の身は自分で守る自助、地区の皆さん同士で助け合う共助が必要になる。普段から心がけていただきたい。</p>

	質問の内容	回答
9	<p>男性 氷見市で水族館や遊具施設など、市外の方が氷見市に集まるような施設を整備する計画はあるのか。そのような観光施設があれば、市外の方が観光に来るので、経済効果が見込めるのではないか。</p>	<p>産業振興部長 水族館を作ることは難しい。 市外の方に来ていただけるような施設は整備したいが、そのための費用と市の財政を考慮する必要がある。具体的な計画はないが、子ども達と親と一緒に楽しめる施設を整備したいと考えてる。市としては、引き続き検討していきたい。</p>
10	<p>男性 家族と外食に行こうとしても、市内にお店があまりない。能越自動車道ができて、市外へ外出しやすくなったこともあり、市内の人が外食する際、高岡に行ってしまうのが現状だと思う。 それとは逆に、市内のインターの近くに飲食できる場所（を作ることはできないか。）市外の方が、氷見に食べに来るような試みはできないものか。</p>	<p>産業振興部長 お話のように市外の人を氷見に呼ぶときには、何かが必要。氷見市の良い景観を活かした飲食施設等が考えられる。氷見で遊べて、氷見で食事ができる街を今後目指して行きたいと考えている。</p>